

上越市学校教育研究会道德部の活動報告

1 道德部の紹介

上越市学校教育研究会には、小学校54校、中学校22校の76校がある。この他に、高田特別支援学校、上越特別支援学校、上越教育大学附属小・中学校も参加して組織されている。全部員が集まるのは一斉研修日と設定した年1回である。今年度は、34名が道德部に所属し、実践と研修に取り組んできた。

2 今年度の主題

よりよく生きる実践力をはぐくむ道德教育の推進

3 主題設定の意図

上越市の「学校教育実践上の重点」には、「自校の道德教育の課題を明確にし、命を大切に育て、規範意識を高める指導を行う」こと「心に響く授業の充実を図る」ことが記されている。道德部では、よりよく生きる実践力をはぐくむ道德教育の推進を主題とし、部員各自が自校の実態をとらえながら実践することと、心に響く授業を行うため役割演技の取り入れ方について研修を進めた。

4 活動報告

(1) 小委員会

- ・ 6月 組織、事業及び研究推進の計画、予算等について
- ・ 11月 道德部会当日の運営について事前準備
「研究のまとめ」の執筆検討、年間の反省等
上越市学校教育研究会の「研究のまとめ」は年度末に発行予定

(2) 一斉専門部会（道德部会）

- ・ 11月 授業公開、協議会、情報交換、指導

①授業公開 役割演技を取り入れた授業（小学校3年生）

ねらい 友達と互いによりよく理解し合いながら思いやり深い友情を深めていこうとする心情を育てる。

主題名 信頼し合う友達

資料名 「あのとすきになったよ」（薫くみこ作 教育画劇）

②協議会 授業公開に関する質疑等

③情報交換 各学校の課題に応じた実践や役割演技を取り入れた授業実践を基にしたレポートを持ち寄り、6人程度のグループを編成し情報交換を行った。

④ご指導 上越教育大学大学院准教授 早川裕隆 様から本時の授業と役割演技を取り入れた授業の進め方等についてご指導をいただいた。